

取扱い説明書

Pozzetti

(IFI社製)





〒154-0005 東京都世田谷区三宿 1-13-1 東映三宿ビル4F
TEL 03-5779-8850
FAX 03-5779-8853
<http://www.carpigiani.com>

目次

ご挨拶	3
1.機械保証条件	3
無償保証期間及び範囲	3
保証出来ない範囲	3
2.マニュアルの説明	4
3.警告	5
4.技術的データ	9
5.設置	10
6.スイッチ説明	14
7.機械を作動させる	15
8.機械の洗浄	16

🌀 ご挨拶 🌀

この度は、IFI社製機械をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

IFI社の製品を十分に御使用して頂くために、御使用される前に必ず熟読されますよう、お願い申し上げますと共に、今後の御発展と御繁栄をお祈り申し上げます。

IFI社製機械は以下のヨーロッパ基準に準拠しております。

- 2006/95/EC (Low Voltage equipment Directive)
- 97/23/EC (Pressure equipment)
- 2004/108/EC (Electromagnetic compatibility)

本マニュアル記載内容の再作成、送信、コピー、記録媒体への保存、他言語への翻訳はカルピジャーニ社との文書での合意を要します。

お客様はあくまで個人のご使用に限り、コピーは可能です。

カルピジャーニ社において、予告なくマニュアル記載内容の変更、修正を行う場合があります

1.機械保証条件

無償保証期間及び範囲

保証期間は、機械弊社出荷日から1年間と致します。無償保証の範囲は故障した当該部品とし、代品を支給する事と致します。アフターサービスの御依頼は、弊社もしくは弊社指定代理店へ御連絡下さい。ただし、下記による故障については、保証期間内であっても有償となります。

保証出来ない範囲

- ① 本取扱い説明書及び、保証書に指定した使用範囲を守らなかった事による故障の場合。
 - 部品の組み立てミスに起因する故障
 - オーリング等、通常消耗部品を指定期間内で交換しなかった事に起因する故障
- ② 取扱い説明書と本体に表示されている禁止事項・注意事項・指示事項を守らずに、機械を停止させ、故障に至ったと弊社が判断した場合。
- ③ 据付工事に不備がある場合
 - 据付工事での取扱い不良による損傷、破損。
 - 据付配管工事や電気配線が不良と判断される場合。
 - 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず、改善されなかった場合。
 - 各種法規に違反する工事により生じた事故。
 - 振動が大きく、もしくは運転音が大いのを承知で運転した場合。
 - 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした場合。
 - 弊社の製品仕様を現地改造した場合、または移設したことにより生じた事故の場合。
 - 電気部品への切粉侵入による事故（追加部品等取り付けの為の穴加工）。
 - 本品に指定された設置場所、使用温度範囲（次ページを御参照下さい）、使用電圧の範囲を守らなかったことによる事故の場合。
- ④ 弊社の製品仕様を据付に当たって現地改造、付帯工事あるいは移設したことにより生じた事故、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに事故となった場合。

- ⑤ 運転環境及び保守点検が不備なことによる事故の場合。
 - 据付場所の不具合による事故（風量確保、化学薬品等の特殊環境条件）
 - 制御機器等調整ミスによる事故。
 - メンテナンス不備（弊社指定の代理店以外の技術者による点検、整備を行った場合）。
 - 修理作業ミス（部品違い、欠品、取り付け不良）。
 - 冷媒過充填、冷媒不足及び冷凍機油不足による事故（起動不良、電動機冷却不良、潤滑不良）。
 - 寒冷条件下、ヒーター取り付け等の氷結対策不備による故障。
 - 異常電圧による事故。
- ⑥ 電源不具合による事故の場合。
 - 電源側のヒューズ溶断、電線の端子緩みによる単相通電（欠相）によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
 - 停電後、非常電源への切り替え後の始動時に起こる電源電圧異常低下（200V以下）によって起こるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
 - 雷などによる電源への異常高電圧の印加、あるいは過大ノイズ印加によるモーター、コンプレッサー、電装品の不具合事故。
- ⑦ 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変による事故。
- ⑧ 国外で使用した場合。
- ⑨ 車両、船舶に搭載使用した場合。
- ⑩ その他、機械の据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事及び使用方法での事故は一切保証出来ません。また、機械運転停止に起因した冷却物、営業補償等の二次補償は致しません。
- ⑪ いかなる自己改善による故障。
- ⑫ パッキン等、通常消耗品全般及びこれら装着不備又は消耗を放置していた事に起因するトラブル全般。

2.マニュアルの説明

安全に関する重要な内容です。よくお読みの上、必ずお守り下さい。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い戴き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをした時に死亡や重大な事故に結びつく可能性が大きいものを  警告 の欄に、
状況によって重大な結果に結びつく可能性のあるものを  注意 の欄に記載しております。いずれも安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ずお守り下さい。

* 絵表示

絵表示の意味は次の通りです。



一般的な禁止事項



必ず守っていただく事項



3. 警告

据付工事



据え付けは、専門業者に依頼して下さい。

ご自分で据付工事され、不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因となります。



据え付けは、機械の重量に耐えうる場所に確実に行って下さい。

万一不備がありますと、機械が転倒し、けがの原因となります。



給排水の据え付け工事は、必ず指定の部品を使用して下さい。

当社指定外の部品を使用して、接続した場合、水漏れの原因となります。



水のかかる恐れのある場所に据え付けしないで下さい。

発火や感電の原因となります。



湿気の多い所や、水のかかりやすい場所に据え付けしないで下さい。

絶縁低下から、漏電・感電の原因となります。

電気工事



必ず専用回路を使用して下さい。

電気工事は、電気工事業者へご依頼下さい。〈電気工事に関する技術基準〉・〈内線規定〉及び、取扱説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用して下さい。専用の漏電ブレーカーを用意し、確実に接続して下さい。不備があると、感電・火災の原因となります。



機械に接続する配線は確実に接続して下さい。

機械に接続する配線は確実に接続し、配線接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定して下さい。接続や固定が不完全な場合、発熱・火災の原因となります。



アース工事を行って下さい。

電気工事業者による第3種設置工事を必ず実施して下さい。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないで下さい。アースが不完全な場合、感電及び機械誤作動の原因となります。



電源は専用コンセントを使用して下さい。

電源コードは、途中で接続したり延長したり、たこ足配線をしないで下さい。機械から半径2m以内床より1m以上の位置にコンセント（できればツイスト、さもなければハイプロスイッチ）を取り付けて下さい。



電源コードを傷つけたりしないで下さい。

電源コードを切ったり、加工したり、引っ張ったり、束ねたりしないで下さい。また、重いものを乗せたり、挟み込んだりすると電源コードが切断され、ショートして感電・火災の原因となります。

使用上の注意



安全装置の設定は変更しないで下さい。

オーバーロードの設定、及び固さ調整をむやみに変えると、モーターやコンプレッサーの焼損、起動不良の原因となります。



漏電遮断器が作動した場合には、カルピジャーニ・ジャパン、または販売店へご相談下さい。

無理な電源復帰を行うと、感電・火災の原因となります。



機械に直接水をかけて洗浄やすすぎをしないで下さい。

ショートや漏電ブレーカーが作動する等の原因となります。

電源プラグの差し込みは確実に行って下さい。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように、根本まで確実に差し込んで下さい。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電・火災の原因となります。



電源プラグの差し込みは確実に行ってください。

電源プラグは、ほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタの無いように根元まで確実に差し込んでください。ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電、火災の原因となります。

修理



分解・修理・改造は行わないで下さい。

カルピジャーニ指定業者以外の方は内部を分解したり、修理・改造を行わないで下さい。分解・修理・改造に不備があると、異常動作によりケガをしたり、感電・火災の原因となります。



異常時は運転を停止して下さい。

異常時は、運転を停止して漏電遮断器を切って下さい。異常のまま運転を続けると、感電・火災の原因となります。

移動・移設



移設は専門業者にご相談下さい。

据え付けに不備があると、水漏れ・感電・火災等の原因となります。



使用上の注意



取り扱いマニュアルを充分読み、作業をおこなって下さい。



濡れた手でプラグに触れないで下さい。感電の原因となります。



漏電遮断器は、定期的に動作確認して下さい。漏電遮断器が正常作動しないまま使用しますと、漏電時に作動せず、感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜く時は、先端のプラグを持って行って下さい。コードを引っ張って抜くと、コードの一部が断線され、発熱・発火の原因となることがあります。



長時間ご使用にならない場合は、安全の為、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。ほこりが溜まり、発熱・発火の原因となることがあります。



ジェラートの入ったポットの洗浄殺菌には充分心掛けて下さい。



アラーム表示、またはチェックランプが点灯している場合には、アラーム内容を確認し、適切な処置を行っても復帰しない場合は、販売店へご連絡下さい。

電気工事



指定容量の漏電遮断器を取り付けて下さい。

電気工事業者へご依頼下さい。

機械には、単独の指定容量の漏電遮断器が取り付けられていませんと、感電・火災の原因となります。

据え付け工事



機械の運搬は、転倒しないように慎重に行ってください。

機フォークリフト等での運搬は、垂直に保ち、転倒させないで下さい。ケガの原因となります。また、人力で移動させる場合は、足元に充分ご注意の上、ケガをしないようにして下さい。横積みにして運搬する場合も、充分にご注意頂き、機械を立てる時には、腰を痛めないようにして下さい。なお、据え付け後は、少なくとも2時間以上は電源を入れず、その場所で静かに放置して下さい。

その他シンボルマークの説明



感電注意： マニュアルやステッカーに従わない不注意な取り扱いは感電事故の原因になります。



取扱注意： マニュアルやステッカー、下記の指示に従わない不注意な取り扱いは受傷事故の原因になります。



注意： 機械ご使用上の重要事項

警告： 指示に従わない不注意な取り扱いはデータの喪失、機械故障の原因になります。



機械操作： 機械知識の無い方は簡単な作業のみ行なって下さい。



機械をメンテナンスする方

機械が通常の状態の時： 機械の整備、あらゆる調整作業は、冷凍、電気の経験、資格を持ったエンジニアが行なって下さい。



故障修理、複雑なメンテナンスを行なう場合：

カルピジャーニ社が指定したエンジニアがメンテナンスを行なって下さい。その他のエンジニアが行なった作業により引き起こされた、いかなる結果も、当社ではその責に任じません。



防護： 事故につながる恐れがある為、防護具をご使用下さい。



機器の接続： 全ての電気接続を確実に行って下さい。

注意： アースは必ず、規則に則った工事を行なって下さい。

警告

機械設置は、弊社にて指定した適切な電気設備の下で行なって下さい。又、配線器具や電源ブレーカー等は国内の基準に則ったものを設備して下さい。



機械内の部品を取り外したり、装着する場合等、機械内部にアクセスする前に、スイッチを停止（STOP）に入れた上、機械電源を切って下さい。
高圧の水による機械洗浄は行わないで下さい。

機械電源が入った状態でカバーを取り外す事は禁止事項です。

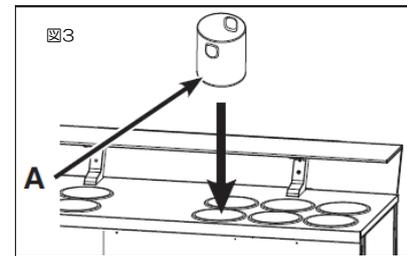
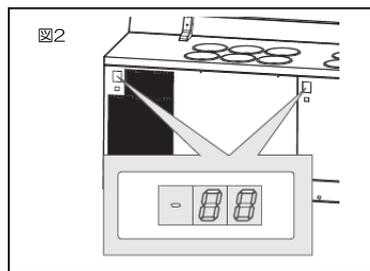
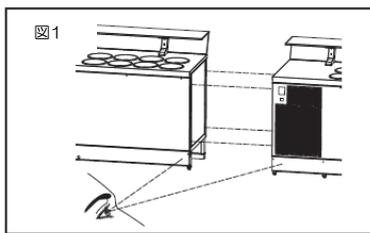


本マニュアル及び機械ステッカーに従わない事により発生した如何なるアクシデントに対し、当社は一切その責に任じません。

機械及び業務用機器の取り扱いに関しては回転、高電圧、また使用中高温になることによる危険に十分ご注意ください。このマニュアル記載内容を守らない取り扱いにより発生した事故に関して、弊社は責任を負いません。

4. 技術的データ

POZZETTIのモジュールは他のモジュールとつないでサーモスタットを一体化することが可能です。機械としては一体型として優れていますので(図1)、テーブル面も接続されてスペースを有効的に使用できます。店員側にあるサーモスタット(図2)で常に庫内の温度をチェックできます。ベンチレーション式冷却により、2段重ね及び1段のみでもポットを庫内保存できます。ポットはアンチローテーションシステムでロックされます。(図3)



冷却ユニット

1基または2基の冷却ファンのある、密閉式の空冷コンデンサーによるコンプレッサーが搭載されています。

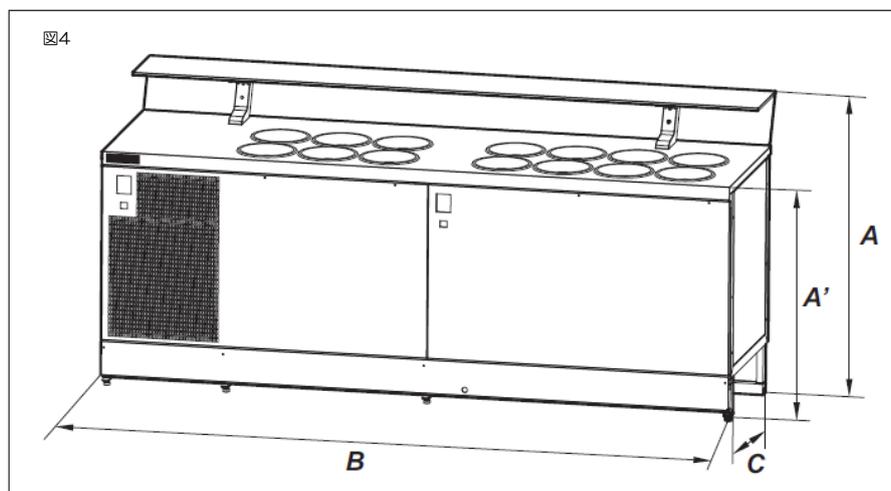
機械の識別

メーカーやアフターサービスへのご相談の際にはシリアルナンバーをお知らせください。シリアルナンバーは店員側に貼ってあるステッカーに記載してあります。

図4のデータになります。

注意

下記の表にはお客様の個別のリクエストによる梱包の重量は考慮されておられません



Specification \ Type	Module 1000 UC/NUC	Module 1500 UC/NUC	Module 2000 UC/NUC	Module 2500 UC/NUC	Module 3000 UC/NUC
A (B. bar)	1151	1151	1151	1151	1151
A'	951	951	951	951	951
B	1000	1500	2000	2500	3000
C (B. bar)	728	728	728	728	728
Max. no. of UC tubs	4	8	12	14	18
Max. no. of UC tubs	6	10	12	16	22
Weight (Kg)	65	107	154	196	240

注意

“A” はガラスを含め、最長の寸法になります。

5.設置

移動

機械移動時は、右図の通り、機械底部の保護用木材ごと)

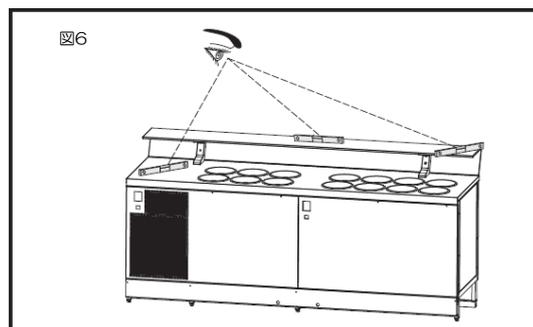
- ① 機械を移動する場合、ガラス及び上部蛍光灯部分には絶対に力を加えないようご注意ください。
- ② フォークリフト、台車等で運搬する場合、つめ全長1m以上の器材にて、保護材の部分で機械荷重を受けるようにして下さい。
- ③ 保護材以外の部分で機械の荷重を受けると、機械内部が破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ④ 中心を保持し安定した状態で機械を運搬して下さい。
- ⑤ 保護用木材は、機械下部からボルトにて固定されています。最終設置前（移動が完了した段階で）機械を安定した状態にして、下からボルトを取り外して下さい。
- ⑥ 不安定な場所や、十分な耐荷重の無い台には乗せないようにして下さい。
- ⑦ 運搬中及び設置作業時、絶対にガラス及び上部蛍光灯部分に力や衝撃を加えないで下さい。
- ⑧ 機械移動時、床に機械を置いた状態で無理に滑らせると、床や機械が破損する場合がありますのでご注意ください。



据付

- ⑨ 機械の荷重に耐えられる場所に設置して下さい。

- ⑩ 水平で安定した場所に設置して下さい。右図（図6）の通り、機械上部にて水平レベルを調整して下さい。水平でない場合霜取りの際のドレインがうまく排出されない場合があります。水平になるよう、機械の足を調整するか、下に板等のスペーサーを挿入して下さい。



設置環境

設置環境の不備に起因する機械不具合及に關しましては、保証の対象外となります。その場合、製品損失等、お客様の係る損害につきましては、弊社では一切その責を負いませんのでご了承ください。

- ⑪ 機械周囲のスペースは、通気及びメンテナンスの為、下記の通り確保して下さい。

前面（お客様側）： 最低 1m のスペース（凝縮器の排気側）

後面（店員側）： 最低 1m のスペース（凝縮器の吸気側）

前面、後面とも、機械本体のパネルを開けてメンテナンスができる様にしてください。後面側はメンテナンスのためにコンデンシングユニットを手前に引き出せる様、床面に障害物を設けないで下さい。

障害物に起因する付帯工事及び作業人員の経費につきましては、保証期間内外に係わらず有償となります。）

- ⑫ 周囲温度

周囲温度は 35℃以下でご使用下さい。

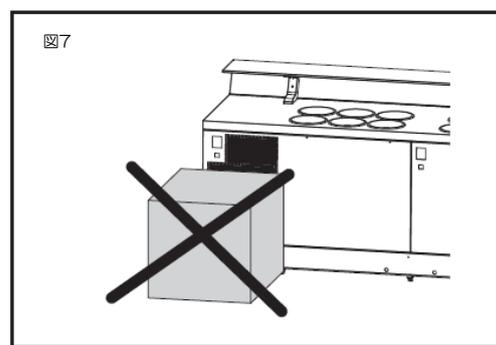
夜間、休日等、閉鎖環境下で周囲温度が 35℃以上に上昇しないようご注意ください。

周囲温度が高い環境では、機械が保護装置により停止する場合がございますのでご注意ください。

- ⑬ カウンター、踏み台等の設置

カウンターや踏み台により、機械の通気、メンテナンスに支障きたさないようにして下さい。後面側はメンテナンスのためにコンデンシングユニットを手前に引き出せる様、障害にならないように設置して下さい。

- 前面（お客様側）： パネルを取り外してメンテナンスが可能な状態であること
- 後面（店員側）： パネルを外してフィルター清掃出来る事、電装箱を引き出してメンテナンス可能な事、コンデンシングユニットを引き出してメンテナンス可能な事
- 障害物に起因する付帯工事及び作業人員の経費につきましては、保証期間内外に係わらず有償となります。



- ⑭ 庫内にエアコンからの吹き出し空気等、外気が流入しないよう周囲環境を確認して下さい。少量でも、庫内に外気が流入すると、冷却不良、異常着霜等の原因になります。

- ⑮ 庫内に直射日光やオープン等の熱気、輻射熱が浸入しないよう

- ⑯ ご確認下さい。

- ⑰ キャビネット本体及び周囲に水がかからないようご注意ください。漏電や感電事故につながる危険があります。

- ⑱ 機械は屋内仕様です。空調されていない環境下での使用は出来ません。

- ⑲ 機械電源ケーブルが破損しないよう、又異常な力がかからないよう、電源ケーブルの配線にご注意下さい。



設置条件の不良に起因するトラブルは、保証の対象外となりますのでご注意ください。

アジャスターの装着



作業中、手などを挟まないよう、お気をつけください。
作業は2-3名で行ってください。

- ① リフトでPOZZETTI本体を持ち上げ、レンチを使用してボルトを緩め、保護用木材を外します。



この作業は安全に十分注意を払って行ってください。

- ② ナットとボルトを戻して半分の深さまでねじ止めします。（次の段階で調整を行います）
- ③ POZZETTI本体を設置場所に下ろします。
- ④ アジャスターを調整しながら適切な高さにします。
- ⑤ 高さを決めたら、ナットを締めます。

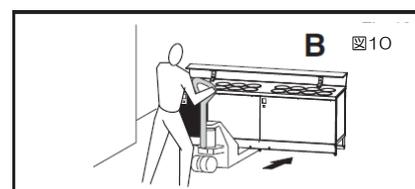
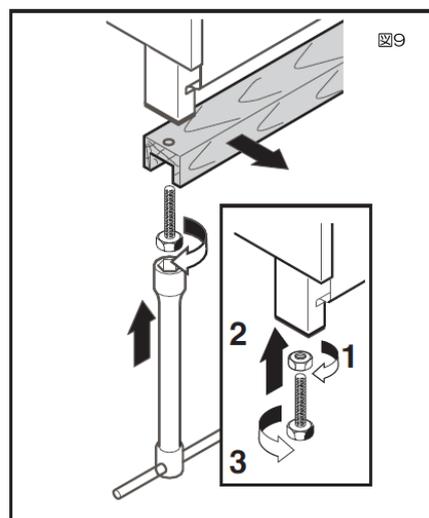


図12

図15

6. スイッチ説明

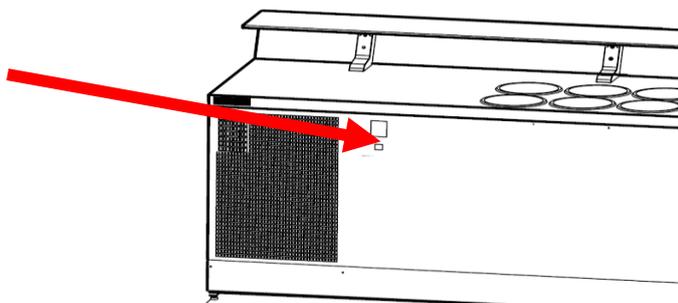
スイッチパネル



メインスイッチ

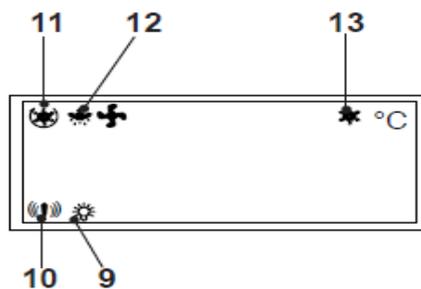
アラームスイッチ

コンデンサーフィルター詰まりアラーム
* フィルターが詰まった場合に点灯する。



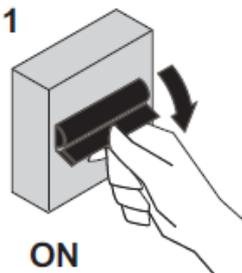
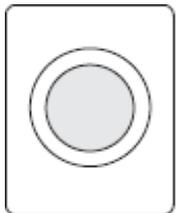
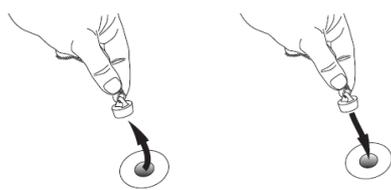
No.	図	説明
1		電源スイッチ
2		セットボタン
3		アップダウンボタン
4		時刻合わせボタン
5		庫内灯

サーモスタットの表示ランプ説明



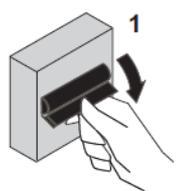
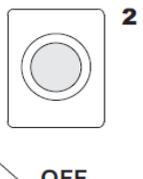
7.機械を作動させる

No.	説明
9	庫内灯
10	アラーム 点滅⇒ 保護装置復帰済み 点灯⇒ 保護装置作動中
11	庫内ファン
13	コンプレッサー 点滅⇒ 遅延タイマーによる作動待ち 点灯⇒ 作動中

 <p>1</p>	<p>機械の設置を行う際には電源をOFFにし、すべてのスイッチをOFFにして行います。</p>
 <p>2</p>	<p>すべての梱包材をはがします。 電源をONにし(1)、機械のメインスイッチ(2)をONにします。 初めて作動開始すると気候の違いによっては設定温度の調整が必要です。</p> <p>注意 作動を開始させてから庫内温度が設定温度に達するまで、製品をポットに入れるのを45分は待ってください。 機械の作動は機械のメインスイッチをONにし、電源スイッチをONにすれば作動開始します。</p>
	<p>POZZETTIには自動霜取り機能はついていません。 霜を取るには製品をポットごと機械から取り出し、機械のスイッチをOFFにしてください。</p> <p>注意 機械の底にある、霜溶け水の漏れを防ぐ栓を抜いてください。(☒) 空気の流れで霜が付きやすくなるので、霜取りが終了したら栓をしてください。(☑)</p>

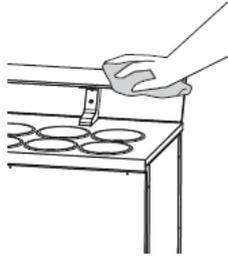
※排水ホースを使用しない場合は庫内をペーパータオルまたは殺菌済みの乾いた布でふき取ってください。

8.機械の洗浄

 	<p>機械の洗浄を行う際には電源をOFFにし(1)、すべてのスイッチをOFF(2)にして行います。 洗浄には道具や研磨剤を使用しないでください。</p>
---	--

※電源は営業終了後毎日OFFにして、庫内を乾燥させることを推奨します。
(最低でも週2-3回は実施してください)

毎週の洗浄

	<p>特殊洗剤・特殊洗浄剤・各種薬品につきましては、部品及び機械本体への影響がないことをご確認の上、ご使用ください。 中性洗剤を含む、洗剤を使用した場合は、製品の陳列前によくゆすいでください。 アルコール噴霧を行った場合は、ペーパータオル等でふき取ってください。 アルコールによって、プラスチック部品に影響が出る場合があります。</p>
	<p>機械内部も外部同様に行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 製品を庫内から取り出してください。➤ 電源を落としてください。➤ POZZETTIの内部をぬるま湯で洗剤を使用せずにスポンジまたは湿らした布で洗浄します。 ※布は必ず殺菌済の物をご使用ください。➤ 多量の水を使用しないでください。➤ これで洗浄終了です。

2017.11.27
NO.1



POZZETTI

MEMO



カルピジャーニ・ジャパン株式会社

本社 〒154-0005
東京都世田谷区三宿1-13-1 東映三宿ビル4F

電話：03-5779-8850(代表)

コールセンター：tel 03-5779-8864
部品注文書宛先：fax 03-5779-8853